

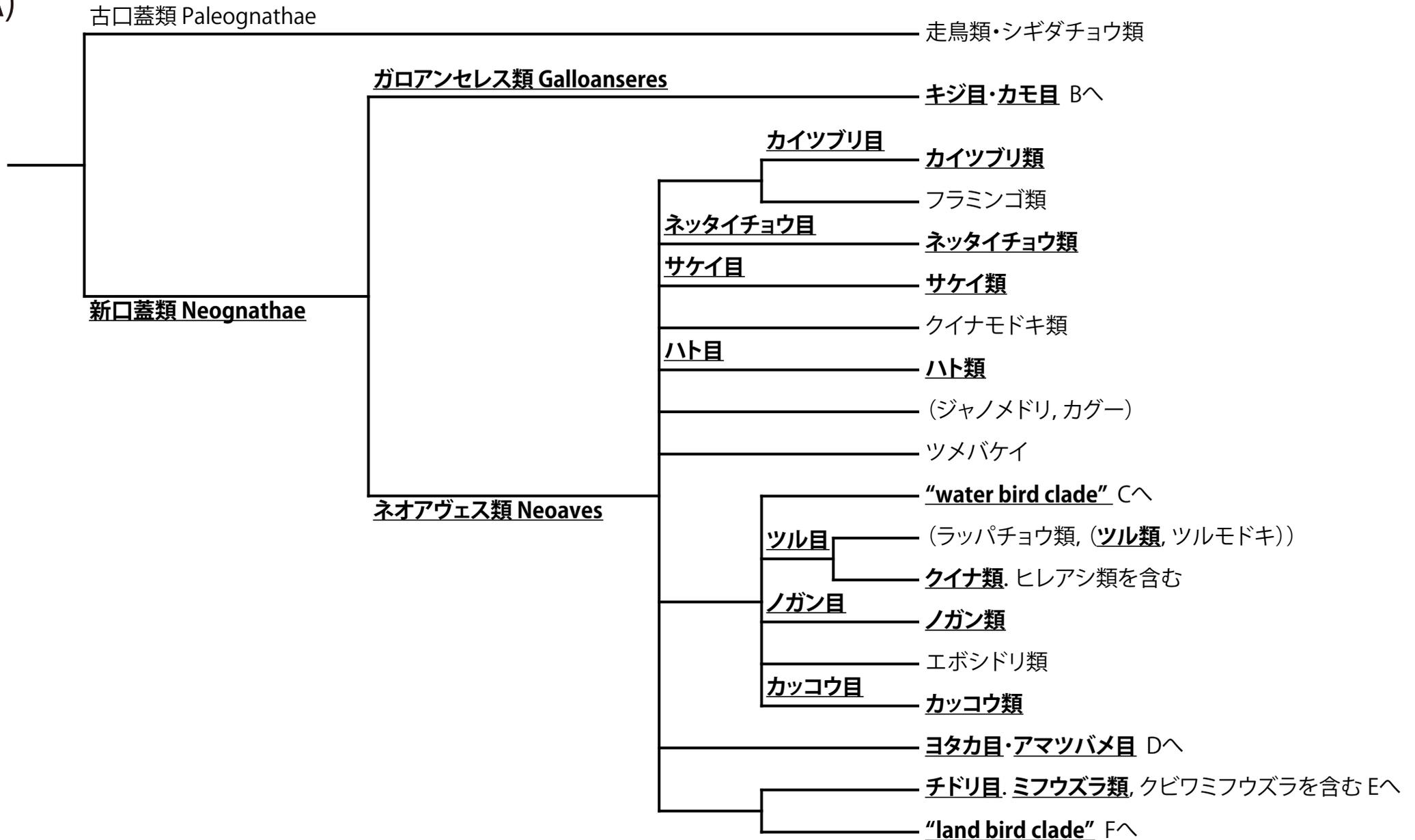
『日本鳥類目録改訂第7版』 高次分類体系の解説

作成日：2013年1月22日 文責：山崎剛史・齋藤武馬・平岡 考

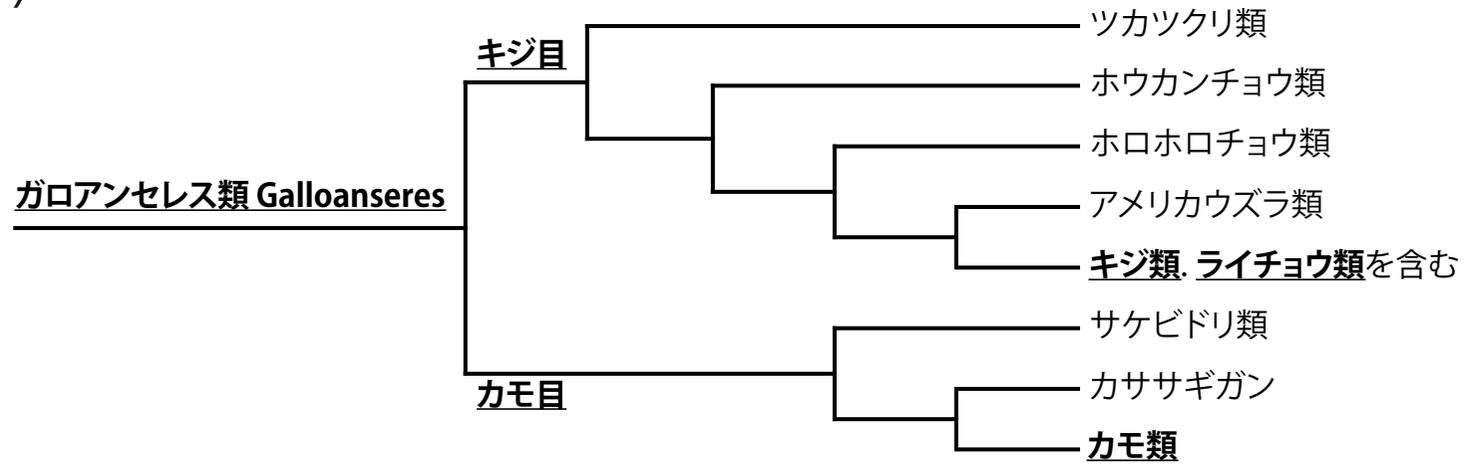
『日本鳥類目録改訂第7版』の目・科レベルの分類体系は、以下の系統仮説に基づいて作成された(図A-G; Gは準備中). 引用文献を含む詳細な解説は日本鳥学会誌上にて公表する予定である.

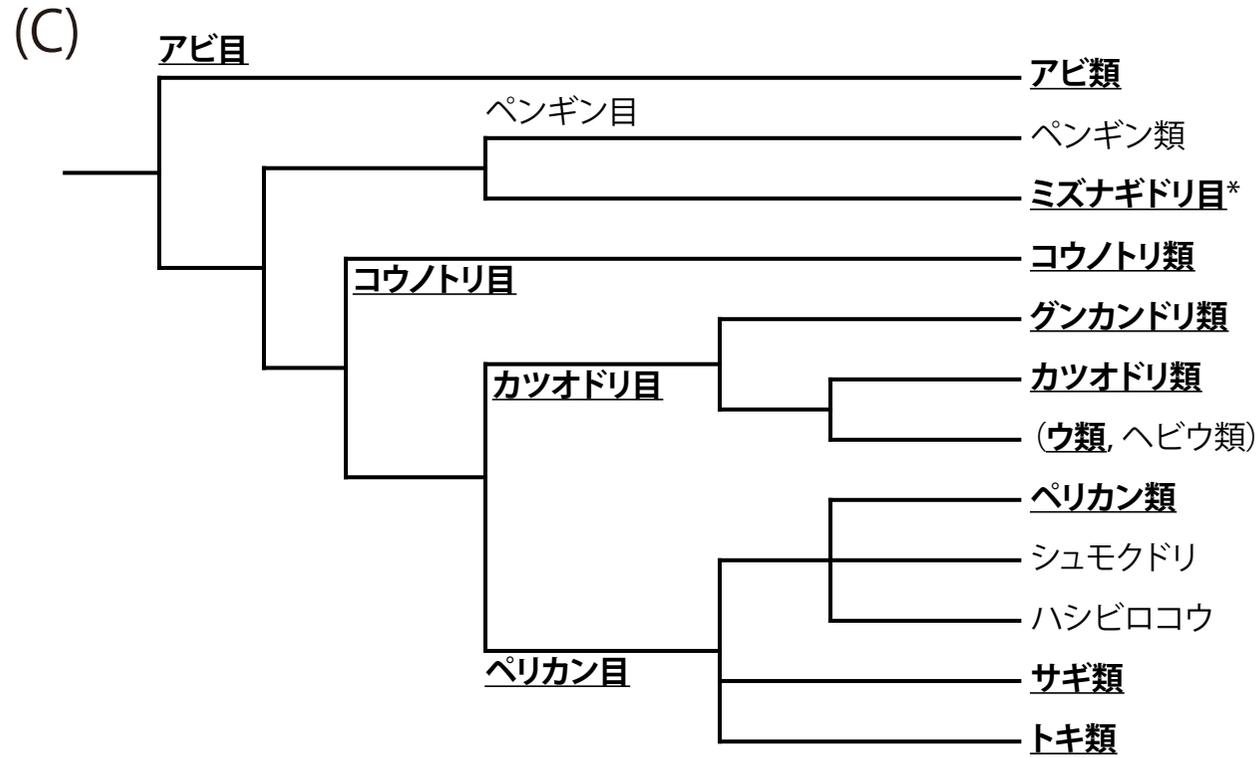
なお, 図中, 太字・下線で示した分類群は本邦産のものである. また, 一部, ベン図にて系統関係を表している部分が含まれる. 枝の長さは分岐年代に比例しない.

(A)



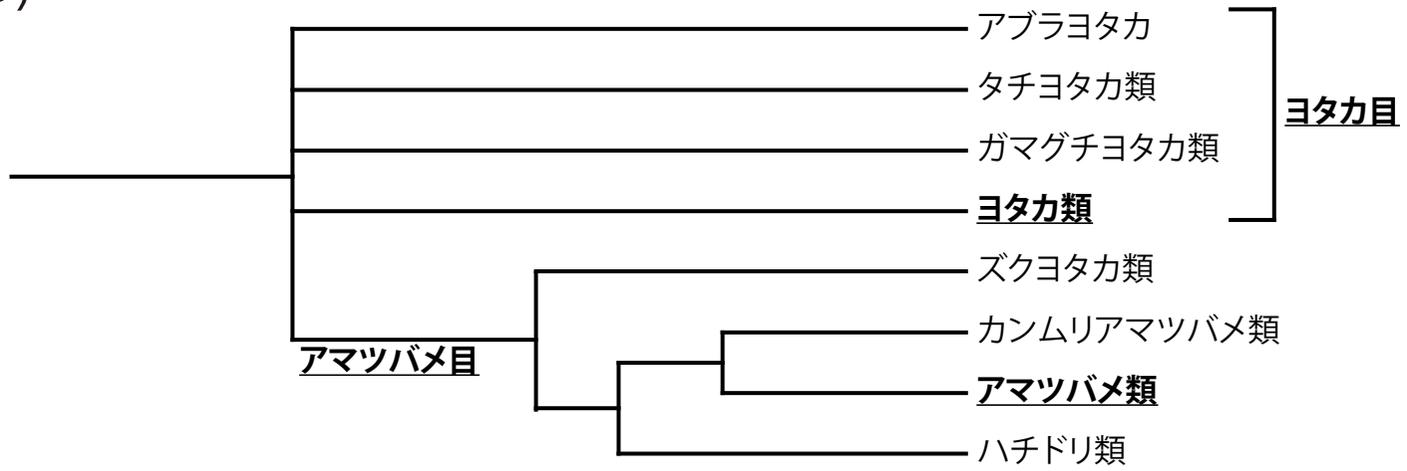
(B)



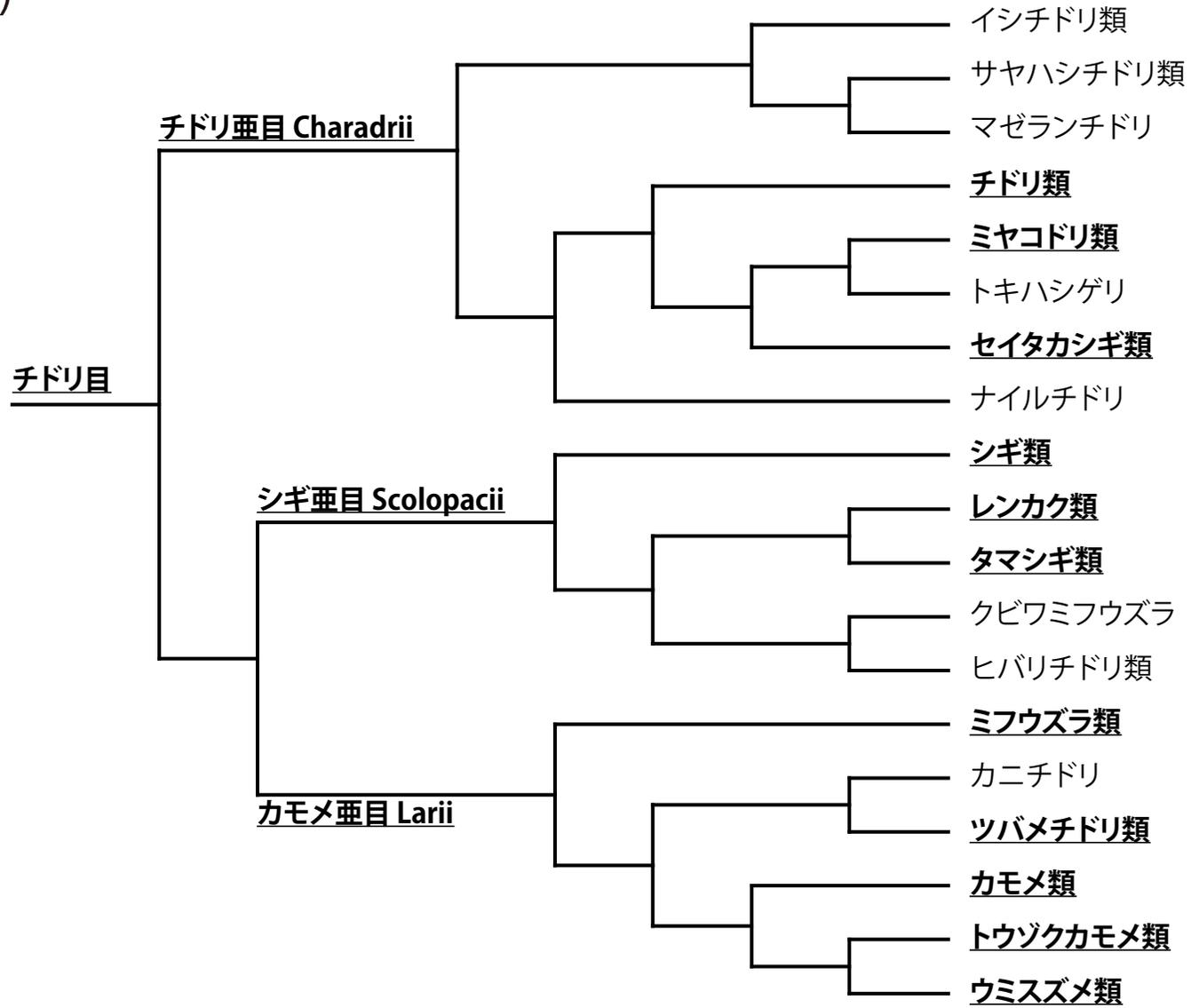


* アホウドリ類, ミズナギドリ類, ウミツバメ類, モグリウミツバメ類を含むが、それらの単系統性や系統関係については確固とした結論がまだ得られていない。

(D)



(E)



(F)

